



ご縁を応援！GO-EN^{しんご}センター だより

GO-EN イベント「ココロとカラダをととのえる ヨガ&カフェ」参加者募集！

自分磨きで いろんなことが動き出す。ヨガ心理学のワークショップとヨガでココロもカラダもリフレッシュ！心身ともにととのえば、日々がもっと楽しめるようになります。お友達も誘ってぜひご参加ください。

- 日時 ①8/25(金) 18:30～20:30(受付 18:00～)
②9/16(土) 10:30～12:30(受付 10:00～)

■会場 SWEET AS (長門市仙崎 313-1)

■参加条件 20歳以上の独身女性

■参加費 2,500円(カフェ代を含む)

■定員 各回 20人

■申込締切 ①8/15(火) ②9/6(水)

イベントに関する問い合わせ・申し込み

Wedding Planning Creabert (クレアバート)

☎ 0837-27-0010

Mail: info@creabert.jp

Facebook、Instagramの

ダイレクトメールでも

受け付けています。



▲ Facebook



▲ Instagram

市民活動推進課 活動推進班 ☎ 23-1172



長門市しごとセンター

21世紀型スキルプログラムを 三隅中学校で導入開始！

長門市しごとセンターでは、子どもたちが、将来において社会を生き抜くスキルをもった人材に育てて欲しいと考え、外部機関や専門家と連携し、各種プログラムを実施しています。

今年度は、市教育委員会の「キャリア教育推進事業」の委託を受け、角川ドワンゴ学園が開発したキャリア教育学習プログラムを導入します。これは、自己を認識し、多様な他者と協働しながら正解のない問いに取り組み、社会を生き抜く「21世紀型スキル」の育成をめざすプログラムです。

まずは、三隅中学校をモデル校として、第1回目の授業を行いました。沖縄在住の講師とオンラインでつなぎ、

「自己理解と自己表現」をテーマに、自分の価値観を知り、言語化に挑みました。デジタルに慣れ始めた生徒からは、前向きな感想が聞けました。来年は、市内全中学校で実施する予定です。



▲1人1台端末を使ってオンラインで学習

長門市しごとセンター(NPO法人つなぐ) ☎ 27-0360



長門おもちゃ美術館

長門おもちゃ美術館の

8月があつい

8月開催のワークショップ情報

たくさんワークショップを行います。ご家族やお友だちと思い出に残る夏にしましょう

- ① 6(日)～ 木のたまご作りワークショップ
- ② 12(土)～ 木のたまご作りワークショップ
- ③ 13(日)～ 木のたまご作りワークショップ
- ④ 14(月)～ ぬりペタワークショップ

(無地のMOKUトレインに好きなデザインを描きます)

- ⑤ 20(日)～ かんなくず缶バッジ作り
- ⑥ 27(日)～ 木のフォトフレームづくり



キッズクルーズ船「弁天」

夏季限定のプレミアムコースを設定(通常の2倍の距離を運行。ワクワク・ドキドキがいっぱい)



長門おもちゃ美術館 ☎ 27-0337



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して

毎月19日は「ながと食の日」

～日頃の食生活について

見直し、実践しましょう～

市では、毎月19日を「ながと食の日」と定め、家庭や保育園・学校・地域がそれぞれの立場で「食」について考え、実践する日としています。

この機会にご自身の「食生活」について見直し、継続的に実践しましょう。

朝ごはんをきちんと食べていますか？

朝食は1日のパワーの源であり、朝食を摂ることで寝ている間に低下した体温が上昇し、脳と体を目覚めさせてくれます。元気に1日を始めるために、しっかり朝食を摂りましょう。

誰かと一緒に食べていますか？

みんなと一緒に食卓を囲んで、ともに食べることを「共食」と言います。何人かで食卓を囲む食事の場は、コミュニケーションの場でもあり、絆を深めるとともに、食事のマナーや食文化を伝える良い機会にもなります。

長門市産の食材を食べていますか？

市内では1年を通して、様々な食材が収穫されています。自分の住んでいる地域で採れる食材を知る・食すことは食料自給率の向上、地域の活性化にもつながります。

長門市保健センター ☎ 23-1133

私がここに残したいもの
～「行ってらっしゃい」と「お帰りなさい」～

ちょこっと
やすだ

無料休憩所

「ひとまる Machikyo」集落支援員

なげざわ まりの
竹澤 真理 さん

令和5年5月に新たに油谷地区にできた地域づくり協議会「ひとまる Machikyo」で6月から集落支援員として働き始めた竹澤さんにお話を伺いました。

▼集落支援員になったきっかけは？

「ひとまる Machikyo」のメンバーに声をかけていただいたのがきっかけです。地域の皆さんと関わる仕事がしたいなと思っていたのもあり、「ひとまる Machikyo」の皆さんが、一生懸命地域を盛り上げようとされている中で、集落支援員として、人と人をつなげたり、地域の人たちの居場所をつくるのができたらと思い応募しました。

▼普段はどのような仕事をしているのですか？

まだ着任して間もないのですが、今は花火大会の準備がメインですね。お盆に帰省した方が観覧できるように、8月14日（月）に油谷の人丸家畜市場で花火大会を開催するのですが、色々と手続きも多いので、協議会のメンバーと協力しながら進めています。今回も、子どもが楽しめる縁日風のお祭りをコンセプトにして企画しています。キッチンカーの出店など、出店者の数も増やして行きますので、子どもから大人までさらに楽しめるイベントになると思います。

▼地域の皆さんと関わってみていかがですか？

何よりも人が温かいですね。子どもと駅通りを散

歩していると、「ちょっと待って」と地域の方が、家からお菓子などを持ってきてくれるんです。私が学生時代にも「行ってらっしゃい」や「お帰りなさい」と、近所の方が声をかけてくれていたんです。そこが今も変わらず残っていて。この感じを残していきたいなと思いました。

▼今後、どのような活動をしていきたいですか？

協議会としては、人丸駅前のにぎわいを取り戻すため、地域全体を盛り上げていきたいと考えています。まずは、しっかりとそのサポートをすることで、もっと人の優しさとにぎわいが融合した地域になっていけばと考えています。

私個人としては、事務所を置かせていただいている「ちょこっとやすだ」を皆さんにもっと知ってもらい、地域の憩いの場所になるよう活動していきたいですね。協議会のメンバーと、ここで定期的にサロン会も実施できたらいいな、なんて話もしています。

今後、空き店舗を活用して、子どもたちの作品展や、世代間交流ができる空間をつくっていききたいと思っています。

編集後記

今回、空き家バンク特集の中で、所有者、移住者、地域の人それぞれにインタビューをさせていただきました。▼住む予定もなく困っていた所有者さんと理想の暮らしを求めて家を探していた移住者さん、そしてその地域に住む人、その3人に共通していたのは「希望と喜び」でした。▼想いの詰まった空き家が想いを持った人によって再び息を吹き返し、その地域にも活気が戻る、まさに未来へバトンが渡り希望が繋がった瞬間でした。▼今、自然豊かな長門市に魅力を感じ、市外から移住したいと空き家を求めている人が増えていきます。これからのこのような素敵なストーリーが生まれることを期待しています。

長門市市民憲章

①青い海 みどりの大地

いかしあう、美しいまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 278 2023年（令和5年）8月号

発行 長門市役所

〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2

TEL 0837-22-2111（代）

編集 企画総務部企画政策課シティセールス推進班

TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358